



学校評価集計結果と考察・展望

過日、皆様にご協力いただきました保護者アンケートと児童に実施したアンケートの集約ができましたので報告いたします。

アンケートの保護者コメントの中に「多分、学校便りのこの部分は校長先生が書かれたものだと思うけれど・・・と思いながら読みますが、せっかくの校長先生からのメッセージですし、横にお名前を書いていただくと保護者の私も認識できますし助かります。」という内容のものがありませんでした。

実を申しますと、学校から出る文書はすべて回議（数人が確認修正すること）後、校長が目を通して決裁していますので、すべて学校が組織的に出している校長決裁文書です。この学校便りは、保護者コメントのご想像通り校長・教頭が、起案（原案を作成すること）して回議しています。「布引だよりはわかりやすくよかった」というコメントもあり嬉しい限りですが、名前を出すと学校便りの私物化（SNS化）と捉える方もおられますので、学校が組織として出した文書とご理解ください。

今年度は、①学校や子どもの様子がわかるように ②地域や保護者の意見や学校の考えをできるだけオープンにするようにとの2点をめあてとして作成しました。

今後ご意見があれば、遠慮なくどんどんお寄せください。

*アンケートの集約は、昨年度を上段、今年度を下段として、以下の項目に分類してグラフ化し、質問項目の経年変化は、◎○□△▲に分別化して表示しました。

A…そう思う

B…どちらかというと思う

C…どちらかというと思わない

D…そう思わない

E…無回答

◎大幅アップ（肯定的評価5%以上）

○小幅アップ（肯定的評価3%以上）

□横ばい

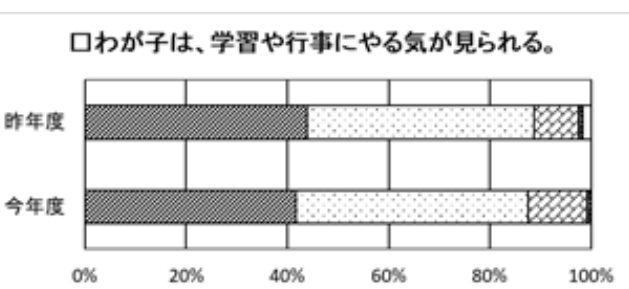
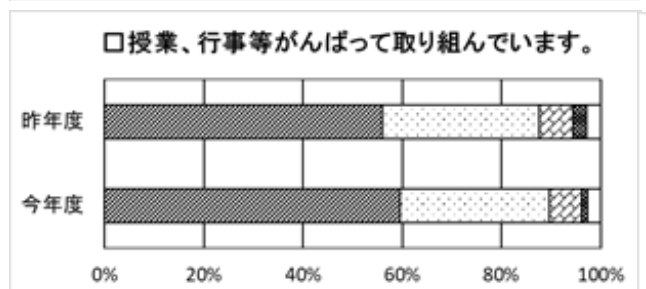
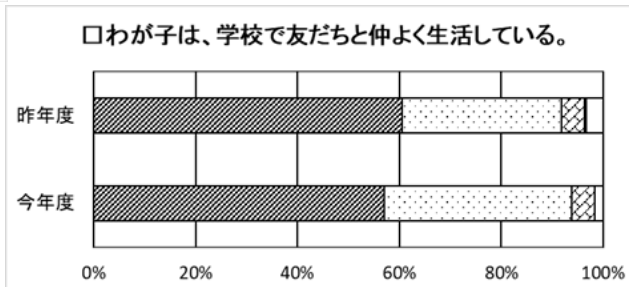
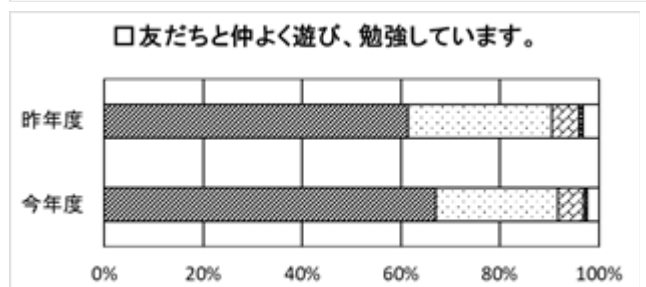
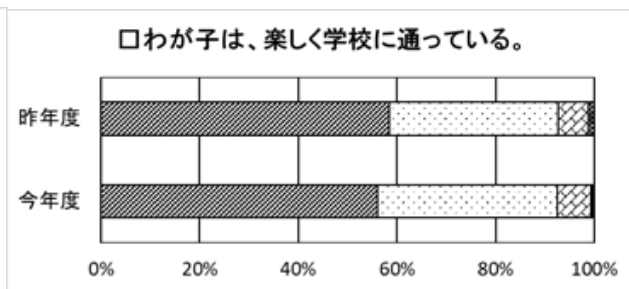
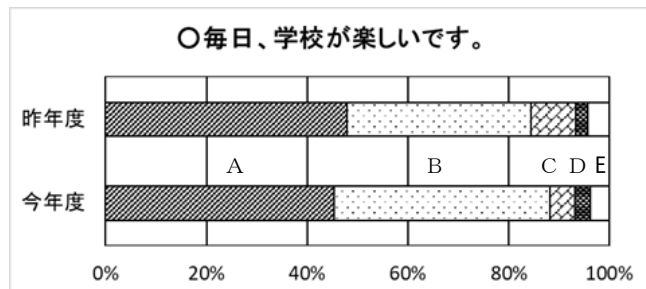
△小幅ダウン（否定的評価3%以上）

▲大幅ダウン（否定的評価5%以上）

学校生活

児童

保護者

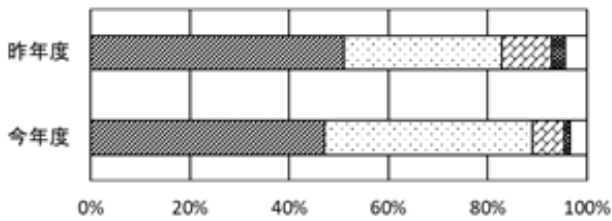


学校生活

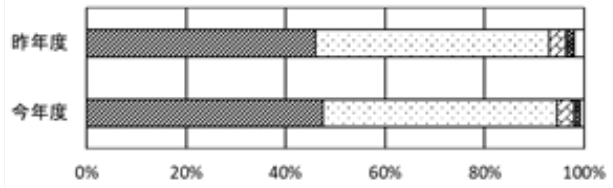
児童

保護者

◎そうじの時間、一生懸命しています。



□学校は、教育方針や成果、課題などを「学年だより」や「布引だより」などでわかりやすく伝えている。

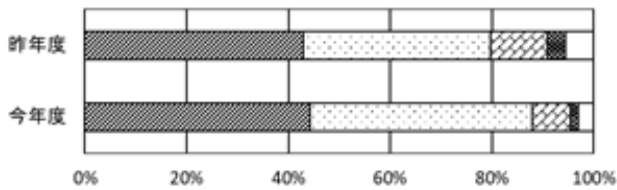


学習

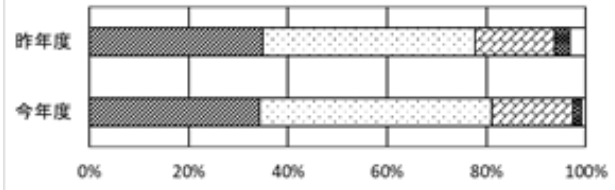
児童

保護者

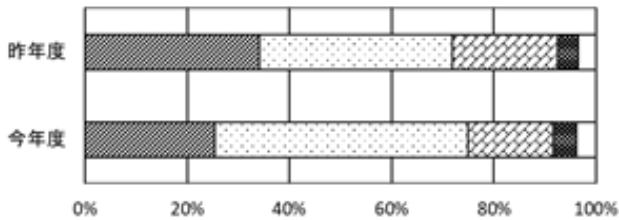
◎何事にも途中であきらめないで、最後までがんばっています。



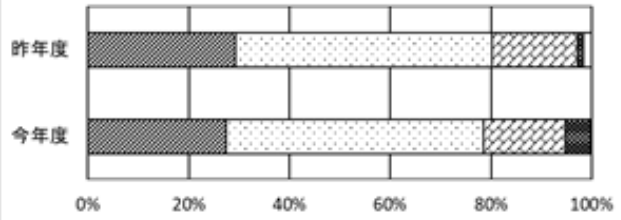
○わが子は、学習や活動などで粘り強く取り組み、あきらめないで最後までがんばろうとしている。



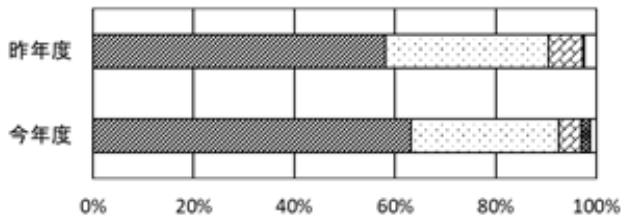
○授業ではしっかり考え、発表しようとしています。



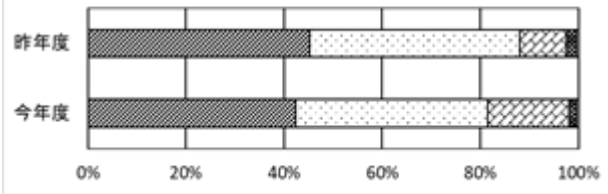
△わが子は、学校で学習したことが定着している。



□宿題を自分の力でやろうとしています。



▲わが子は、学校で出された課題や自主学習などに、がんばって取り組んでいる。

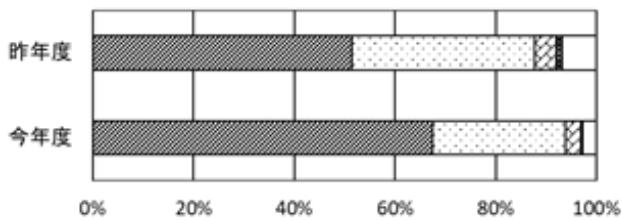


豊かな心

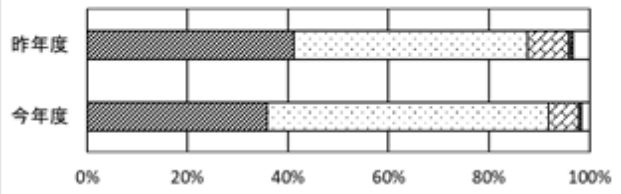
児童

保護者

◎友だちにいつもやさしくしようとしています。



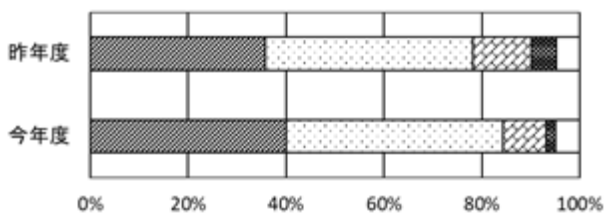
○わが子は、学校生活の中でやさしさや思いやりなどの豊かな心が育っている。



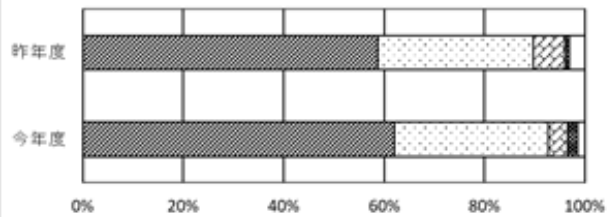
児童

児童

◎言葉遣いに気をつけて話をしています。

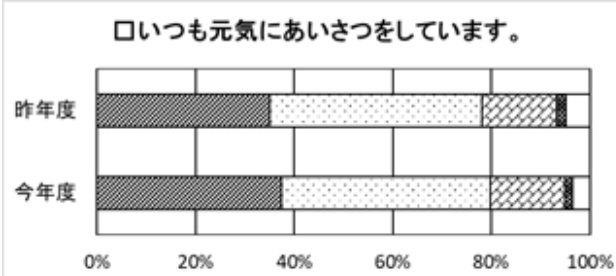


○みんなが集まったとき、しっかり話を聞いています。

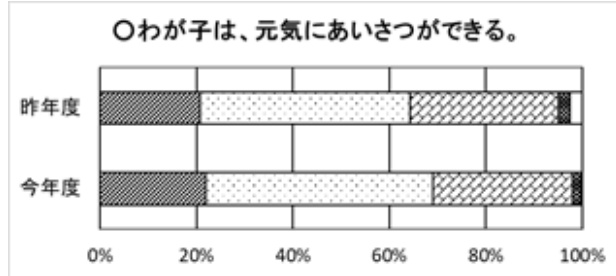


あいさつ

児童

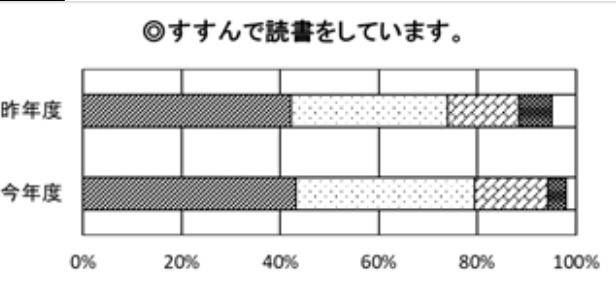


保護者

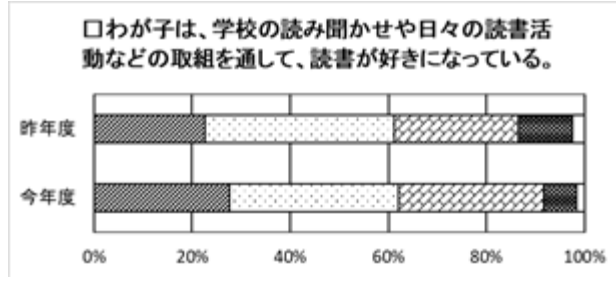


読書

児童

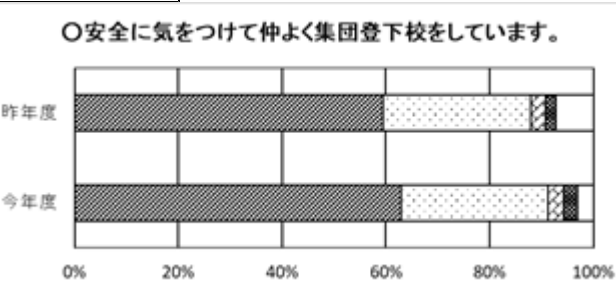


保護者

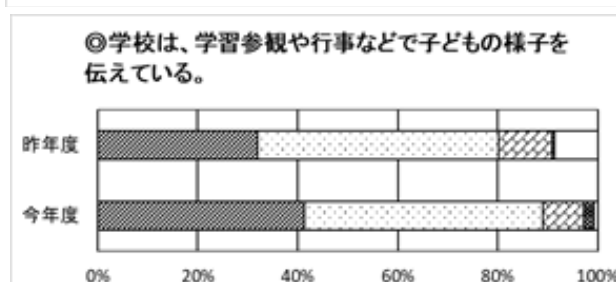
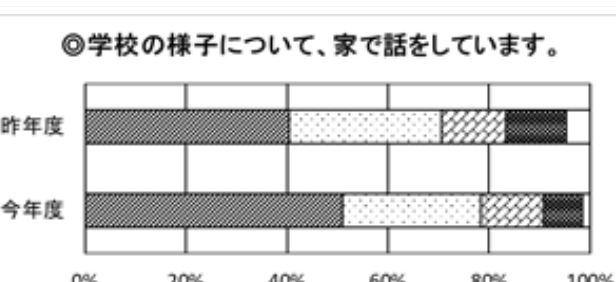
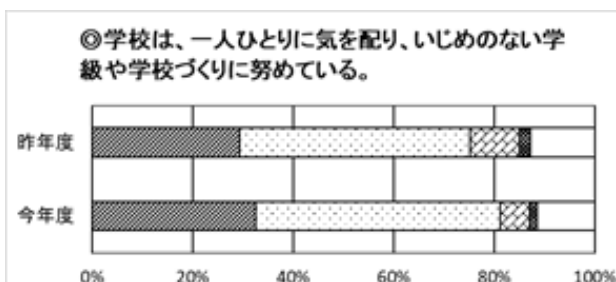
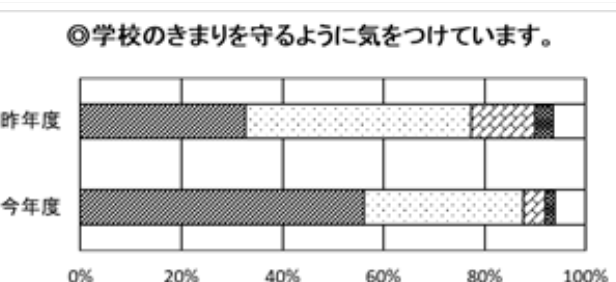
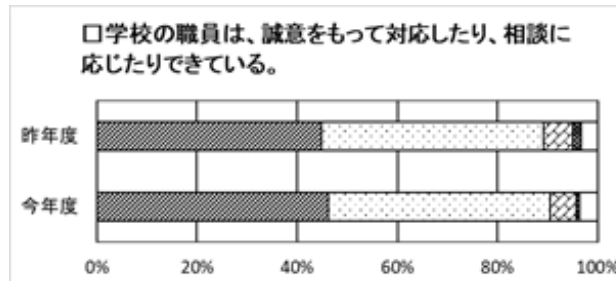
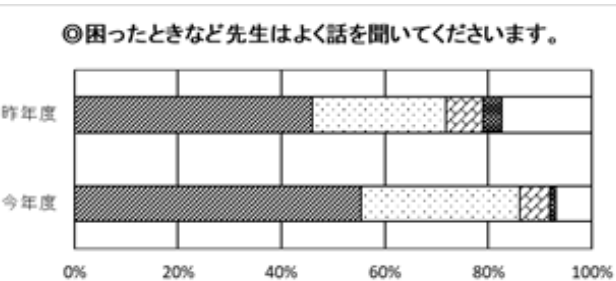
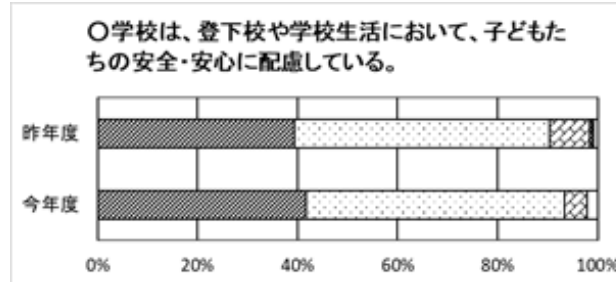


安全・安心

児童



保護者



保護者アンケート自由記述紹介

○お礼等 ▲要望等 (→回答)

○休むことなく元気に楽しく学校生活を送れました。子どもも素直で、先生も温かく熱心で、布引小学校に通えてよかったです。(6年保護者等、他学年同意見多数)

○子どもの様子が変わったので電話で相談したところ、すごく一生懸命聞いてくださり、対応も保護者の思いをきいてしてくださったので、悪い方に進まないといよと心配していましたが、丁寧に進めてくださってよかったです。今後も、いろんな問題を丁寧に進めていっていただきたいです。(2年保護者・他学年同意見多数)

○ノーテレビ、ノーゲームデーは、子どもだけでなく私自身もがやがやした音から解放され、落ち着ける日々でもあり(笑) チャレンジ月間以外にもずーっと習慣となり、すてきな取り組みだと思い感謝しております。(1年保護者、5年保護者同意見)

○暗唱チャレンジやノーテレビ月間があり、子どもにとってよいことをしてくださっていると思っています。(2年、4年保護者同意見)

○学校メールはすごく助かっていて、毎日の下校メールだけでなく、細やかに必要に応じてメールしてもらえてありがたいです。このまま続けてほしいです。(他の学校の対応の中で一番心がこもっていて自慢です。(2年、5年保護者同意見)

○先生方の多忙さはネット等を通して良く耳にするので、個人的には無理をしてほしくないのですが、その中でも本当によく見てくださっていて、連絡帳などを通して様子を教えていただけるので感謝しています。保護者からの意見に対しても明快に回答し、学校便りに書かれているのもありがたいと思っています。(4年保護者)

○朝、校長先生だけでなく、先生も見回りをしてくださっている時がありました。忙しいかと思いますが、少しずつでも続けられれば、子どもたちとの交流にもつながり、よいかと思います。(1年保護者)

▲担任の先生は大変良くしてくれます。(生活面・勉強面) 毎回ではないが時間の空いている先生がクラスに入り、勉強を教えてくれると聞きました。いろいろな面で担任の先生一人では限界があると思います。生徒皆が、生活面勉強面で優秀とは限らないので。無理を承知で、勉強のできない子どもたちを、そこそこ勉強ができるようにしていただけるとありがたいと思います。

→本校は毎年1クラスになるか2クラスになるか瀬戸際の学年があり、大変申し訳ないのですが、どうしても多人数のクラスが出てしまいます。今年度は多人数のクラスには年度途中から加配と支援員の先生の配置を県・市教委に強く要望して対応しました。ただ、国や県は少人数学級編成の方向から、小学校専科指導や習熟度別指導に移行し、人員配置しようとしているのが現実です。

▲個人的には、運動会は春のままがいいです。秋にする前に保護者の意見も聞いて変更するか決めてほしいです。(5年・2年保護者)

→おっしゃるとおりです。次年度は春運動会ですが、3月には保護者にアンケートを取ります。

▲宿題が多い。特に長期休暇にたくさんの宿題の必要性を感じない。長期休暇中の宿題を親や子どもが丸付けをするシステムは1年生の時から疑問を感じている。先生が確認丸付けをする時間の確保ができないのであれば、宿題はなくてもよいと思っている。宿題を多く出すことを望む家庭にだけ提出させてはどうかと思う。(3年保護者)

→宿題の出し方は大変むずかしく学校も頭を悩ませています。保護者アンケートを分析すると、今年度「家庭学習」「学習の定着」の項目だけ▲がついており、学校の課題であると捉えています。宿題の目的は「学校で習った学習内容を定着あるいは発展的に取り組ませること」ですので、本来は一人ひとりにあった内容・量が理想です。しかし1対多である指導体制の時間的制約や特に長期休業中に学習した内容がとんでいってしまう児童もいることから、どうしても多くなる傾向にあります。宿題が多い・少ないと保護者から異論が出るのは当然のことと思っています。本校では、家庭学習の手引きを出していますが、今後その内容を改善していきます。

▲交通当番で子どもたちと接していて、上級生になるほど挨拶ができなくなる傾向があるようにも思います。低学年でもできない児童はたくさんいますが…。

→あいさつの基本は家庭からも「おはよう、お帰り、ありがとう、ごめんなさい等」子どもに発信していただくとありがたいです。アンケートでは今年度は昨年度より児童も保護者も上昇評価傾向にあり、あいさつ運動の団体からは先日「布小の挨拶率は高い」と評価いただきました。今後も本校児童の課題として、地域と保護者と学校が連携して取り組んでいきましょう。

考察と展望

今年度も教育目標『心豊かに たくましく やり抜く子ども ～一人ひとりがキラリ輝く布引の子～』を掲げ、布引小アクションプランに基づき、さまざまな教育活動に取り組んできました。児童・保護者・教職員アンケートを元に、教職員による3回の評価会議の内容を学校評議員会におはかりし、次年度への改善につなげていきたいと考えています。

学校評価については、今年度は経年変化で全体的に分析すると、児童の評価が大きく上昇しました。学校は子どもが主役ですので、多くの子どもが前向きな学校生活を送れたと、このことについては素直に喜んでいきます。一方で、読書活動など今年度力を入れて子どもの評価は上がっているにも関わらず、保護者の評価は横ばいというものもあり、学校の家庭への発進力の低さも痛感しております。

また、一人ひとりがキラリと輝くための学力向上や子どもの自治的な集団作りそして特別支援教育が本校の大きな特色で、ある程度高いレベルで教育は提供できているとは思いますが、第1回目の会議では①スマホの普及に情報モラル教育が追いついていないこと ②家庭学習のあり方 ③教育相談日等学校の情報発信 ③子どもの地域での挨拶等が課題としてあがりました。今後は、保護者や地域の意見を取り入れながら評価の高い内容は基本継続、低い内容は削減または改善し、スクラップ&ビルドで、次年度当初のPTA総会でプランをお示しします。

今年度もあと1ヶ月あまりとなりましたが、まだ終わっていません。最後まで、子どもたち、教職員ともに「やり抜き」ますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2月の学校の様子 ～開かれた学校へ一歩ずつ～



山階（神寄）先生の5年お琴教室



3年生名人に学ぶ 藤田先生（一級建築士）



お話ポッケさんの絵本の広場



能登川博物館にて七輪体験